

平成16年度

事業報告書

財団法人にいがた産業創造機構

平成16年度財団法人にいがた産業創造機構事業報告

景気の先行きについては、企業部門の好調さが持続しており、世界経済の着実な回復にもなって底堅く推移すると見込まれています。相次ぐ災害で回復基調にあった県内景気は減速を余儀なくされたが、このところ回復の兆しを感じられる状況になっています。

このような状況の下、企業の継続、発展を図るべく、懸命な取り組みを続ける中小企業等に対して、窓口相談等の総合支援、ゆめ・わざ・もの補助金等の創業・新事業創出支援、マーケティングの視点によるマーケティング総合支援、設備貸与等の経営改善支援、国際化支援、企業再生支援、次代をリードする産業を創出するための産学連携コーディネートや産業創造プロジェクトなど幅広い事業を実施しました。

その結果、平成16年度の中期目標について概ね達成できたところですが、引き続き時代の変化に柔軟かつ機動的に対応し、企業の多様なニーズに応えられるよう、より質の高いサービスの提供に努めていきます。

財団の運営

1 理事会 / 評議員会の開催状況

第1回理事会 / 評議員会（平成16年5月28日 NICOコミュニケーションセンター）

- ・平成15年度事業報告について
- ・平成15年度収支決算及び監査報告について
- ・平成16年度事業計画の変更（追加）及び同収支補正予算について
- ・財団法人信濃川テクノポリス開発機構の解散に伴う同財団事業の継承について
- ・財団法人信濃川テクノポリス開発機構の解散に伴う同財団財産の寄附の受入れについて
- ・財団法人にいがた産業創造機構就業規程の一部改正について
- ・評議員の選任について

第2回理事会 / 評議員会（平成16年9月29日 万代島ビル11階会議室）

- ・寄附行為の変更について
- ・諸規程の改正について
- ・平成16年度事業計画の変更（NICOテクノポリス追加）について
- ・平成16年度収支補正予算について
- ・評議員の選任について

第3回理事会 / 評議員会（平成17年1月20日 万代島ビル11階会議室）

- ・社団法人新潟県産業貿易振興協会の解散に伴う同社団事業の継承について
- ・社団法人新潟県産業貿易振興協会の解散に伴う残余財産の寄附受入れについて

- ・平成 16 年度収支補正予算について

第 4 回理事会 / 評議員会 (平成 17 年 3 月 29 日 万代島ビル 11 階会議室)

- ・平成 16 年度収支補正予算について
- ・平成 17 年度事業計画について
- ・平成 17 年度収支予算について
- ・平成 17 年度設備購入資金及び設備資金貸付金の借入について

2 企画運営委員会の開催状況

NICO 企画運営委員会 (平成 16 年 9 月 2 日 万代島ビル 11 階会議室)

- ・平成 15 年度中期目標・中期計画の達成状況
- ・近況報告
 - 日本橋・新潟館 NICO プラザ#2 のオープン
 - (財)信濃川テクノポリス開発機構の統合日程
 - トヨタでの新潟の新技术展示会
- ・選択と集中 : NICO の今後の方向性について

NICO 企画運営委員会 (平成 17 年 3 月 22 日 万代島ビル 11 階会議室)

- ・これまでの活動実績について
 - 中期目標
 - 日本橋・新潟館 NICO プラザ#2
 - NICO テクノプラザ
 - IDS 百年モノがたりプロジェクト
 - にいがた新工法・新技术展示商談会
- ・平成 17 年度の重点課題について
 - NICO のミッション
 - 今後の運営方針
 - 戦略構造と事業見直しの方向性
 - 選択と集中
 - 発掘育成型の支援

中期目標

1 中期目標の達成状況

NICO第2期中期目標・実績(16年度) <一覧>

1 創業・経営革新の促進に係る目標

指 標	中期目標	16年度目標	16年度実績	16年度達成率
創業・新分野進出企業	200以上	85	86	101.2%
育成・支援企業	1,000以上	600	1,014	169.0%
利用企業等	20,000以上	9,000	15,575	173.1%
評価度の向上	7割以上	17年度より		

2 産業創造プロジェクトに係る目標(数値目標に係るもの)

(1) IT産業クラスター形成プロジェクト

指 標	中期目標	16年度目標	16年度実績	16年度達成率
高度IT人材育成	800人	320	471	147.2%
クラスター形成の核となる企業	10以上	5	6	120%

注) 16年6月開催の「IT産業クラスター中核企業選定委員会」で決定する。

(2) フラットパネルディスプレイ関連産業群形成促進プロジェクト

指 標	中期目標	16年度目標	16年度実績	16年度達成率
関連企業	20社以上	7	7	100.0%

(3) 都市エリア産学官連携促進プロジェクト(新潟)

指 標	中期目標	16年度目標	16年度実績	16年度達成率
特許出願件数	6件以上	6	3	50.0%
参入企業	10社以上	2	8	400.0%

(4) IDS百年モノがたりプロジェクト

指 標	中期目標	16年度目標	16年度実績	16年度達成率
参加企業	30社	20	16	80.0%
開発商品アイテム	30	20	57	285.0%

(5) 民生用ロボット開発研究プロジェクト

指 標	中期目標	16年度目標	16年度実績	16年度達成率
研究会の参画企業・大学関係者	30以上	25	24	96.0%
製造、開発等関連企業	40社以上	20	6	30.0%

事業報告

1 総合支援

経営・技術等の相談に的確に対応するため、具体的解決策を提供する“知恵”の支援を強化するとともに、各支援機関等との連携により、総合的な相談窓口としての機能の充実を図った。

(1) 窓口相談整備事業

中小企業や創業者の抱える様々な課題に対し、窓口相談等で対応したほか、地域支援機関等との連携を強化し、相談案件の発掘も図った。また、全国の支援機関等との情報交換やネットワークづくりに努め、企業や起業家が各種支援サービスを有効に活用できるよう取り組んだ。

総合相談窓口運営

中小企業や創業者の抱える様々な課題に対するアドバイスを延べ1,020件行った。

インターネット相談窓口

法律や税務・会計、特許など各種分野の専門家から、基礎的情報やタイムリーな情報を機構ホームページ上で提供する「ビジネス知識源」について、充実を図った。

ブレンネットワーク構築

機構の事業構築や企業支援活動の更なる充実を目指し、県内外において様々な分野の第一線で活躍する人物や団体を機構のブレン（知識・ネットワーク型資源）として位置付け、ネットワークの構築を図った。

これらのブレンを活用し、各種セミナーや研究会を実施したほか、商品開発・流通開発ラボラトリーなどを行った。

関係機関連携

ア 機構の利用と促進を図るため、県内の関係機関と連携して、機構の事業計画などの説明会を各地で行った。

《実施状況》27回（参加人数延べ1,079名）

イ 機構と特に関係の深いローカル支援センター（県内5カ所）とは、連携して個別企業への相談対応を行ったほか、意見交換を中心とした会議を2回行ったほか、共同開催セミナーを5回開催した。

また、中小企業への支援活動に関する情報交換を目的に、ローカル支援センターのほか、数箇所の商工会議所等産業支援機関を交えた会議を1回行った。

新潟県新事業支援機関連絡協議会の開催・運営

県内の産業支援機関の支援策や支援情報等の交換を行うことを目的に、会議を1回開催した。

日本新事業支援機関協議会（JANBO）との連携

日本新事業支援機関連絡協議会（JANBO）開催による各種会議に参加した。

《参加内容》

H16.5.25～26 JANBO総会、JANBOセミナー

H16.11.25～26 JANBOセミナー

H17.3.15～16 JANBOセミナー

支援担当者能力開発・・・中小企業大学校研修及び企画力養成研修への派遣
機構職員のスキルアップを図るため、中小企業大学校での研修会などに延べ6
人派遣した。

(2) 相談指導事業

新事業コーディネーター3名（情報、企画、市場）及び新事業育成メンター4名
（財務・金融、機械・金属、環境、知的財産所有権）を委嘱し、創業者や企業経営
者等からの個別相談に対し、延べ549日の活動を行った。

この相談者の中から特に将来性の高い企業に対しては、コーディネーター、メン
ター等が集中的に支援、アドバイスをを行い、販路支援や事業化促進支援等、ブラッ
シュアップを行った。

また、毎月1回会議を開催して情報交換を行い、有望案件の発掘に努めた

ア 活動実績

新事業コーディネーター（3名） 232日

新事業育成メンター（4名） 317日

イ 相談件数

新事業コーディネーター（3名） 107件

新事業育成メンター（4名） 158件

(3) 専門家派遣事業

創業、技術、生産、販売、知的財産等様々な中小企業者の問題に対して、民間の登
録専門家を派遣し、助言支援により問題解決に努めた。

< 専門家派遣 >

審査会を9回実施し、派遣決定企業は29社29件、延べ派遣回数134回で
あった。

・登録専門家数 119名

・業種別 製造業13社、卸売業5社、サービス業4社、建設業2社、小
売業2社、その他（運輸業・産廃運搬業）2社

・相談内容 IT関連29件、ビジネスプラン25件、技術22件、経営全般
15件、ISO15件

< 知財専門家派遣 >

審査会を2回実施し、派遣決定企業は3社3件であった。

- ・登録専門家数 18名
- ・相談内容 社内における知的財産の管理手法
知的財産の基礎と研究開発への活用法
自社特許を他社利用させる場合のノウハウの取扱いを含む契約等の進め方

(4) 事業可能性評価委員会等設置事業

新事業コーディネーター、新事業育成メンターで構成される事業可能性評価委員会を設置し、新事業展開を目指す中小企業者のビジネスプランに対して、技術、商品力、市場分析力、事業実現可能性等を評価し、助言を行った。

- ・評価案件 17件

2 創業・新事業創出支援事業

企業の発展段階に応じた各種支援策を効果的に活用することにより、創業や中小企業の経営革新、新事業展開を支援した。

(1) にいがた起業塾開講事業

企業の新たな挑戦と次世代の起業化育成をベースに、短期間で経営マネジメントやマーケティングなどの体系的な基礎知識を習得できる講座を実施した。

- ・企業向け講座 3講座
- ・次世代の起業家育成を目的とした学生向け講座 1講座

MOTコース(延べ5日間)

- ・日程 平成16年11月13日～12月11日(毎週土曜日)
- ・場所 NICOプラザ
- ・内容 生産加工システム、知的財産戦略等
- ・受講者 35名
- ・受講料 30,000円

経営マネジメントコース(延べ5日間)

- ・日程 平成17年1月15日～2月13日(毎週土曜日)
- ・場所 NICOプラザ
- ・内容 財務会計、経営戦略、法務、人的資源管理等
- ・受講者 19名
- ・受講料 15,000円

マーケティングコース(延べ5日間)

- ・日程 平成17年2月12日～3月12日(毎週土曜日)

- ・場 所 N I C O プラザ
- ・内 容 マーケティング戦略、マーケティングリサーチ、ブランド戦略等
- ・受講者 30名
- ・受講料 15,000円
- ヤングアントレプレナーワークショップ
- ・日 程 平成16年11月21日、28日
- ・場 所 N I C O プラザ
- ・内 容 基調講演、ハ^ロル^ドイ^ンス^タク^ショ^ン、ビ^ジネ^スシ^ムレ^ショ^ンゲ^ーム
- ・受講者 77名
- ・受講料 無料

(2) ゆめ・わざ・もの創造事業

本県産業の活力の維持、発展を図るため、事業を立ち上げようとする起業家及び高付加価値型商品の開発、技術基盤の高度化、地域活動に密着したビ^ジネ^スの事業化に対し、その経費の一部を助成した。(県直接執行分を除く)

ゆめ・わざ・ものづくり支援

事業シ^ズを企業化へ結びつける企画・立案・調査(ゆめづくり)、新技術の開発・試作(わざづくり)、独自の技術やアイデアによる画期的商品の開発(ものづくり)に対する支援

・ゆめづくり支援助成金	3件	2,283千円
・わざづくり支援助成金	14件	39,492千円
・ものづくり支援助成金	15件	33,105千円
・地域戦略技術開発助成金	6件	10,063千円
計	38件	84,943千円

<内訳> ゆめづくり支援助成金

	テーマ	企業名	助成額(円)
1	簡易型ハウスを用いたササユリ球根の効率的な養成技術の開発	(株)谷村建設	633,000
2	エデンの花畑・第二次基盤整備事業	(有)エデンの棚田	700,000
3	「和愉」和の暮らしを、心行くまで愉しむための商品開発	(株)大湊文吉商店	950,000

<内訳> わざづくり支援助成金

	テーマ	企業名	助成額(円)
1	LED向けサファイア基板用次世代型レーザースクライバーの開発	(株)アクティブ	4,750,000
2	ハイビジョンWEBニュースネットワークシステム	(有)WEBニュースネットワーク	4,363,100
3	次世代型高圧処理による機能性食品の開発	越後製菓(株)	4,750,000
4	赤ワイン「澱(オリ)」配合化粧品の開発	(株)エヌ・ピー	1,174,150
5	レーザースケール付超精密XYステージの開発	(株)オブセル	1,382,537
6	ATカット低周波小型、面実装方式、車載用水晶振動子の開発	(株)サンリード	3,105,000
7	乾燥・燃焼法による食品系廃棄物減量技術	シマト工業(株)	4,700,000
8	側溝上部補強工法用サイドカッティングマシンの研究開発	高橋土建(株)	3,100,000
9	ハム連続テンパリング(表面凍結)装置の開発	明和工業(株)	3,385,988
10	納豆のジェル状のタレ注入工程の自動化に係る技術開発	(株)山ノ下納豆製造所	1,893,910
11	牛乳宅配システムのIT化推進による、顧客分析と販売促進、及び新サービス開発による売上増大	(有)ミルズ	1,850,000
12	地盤調査機データを取入れた地盤改良施工管理システム	(株)アライブ	2,800,000
13	食品工業向け発泡殺菌洗浄装置の開発	(株)つばでん	1,450,000
14	世界初のボルト軸力測定器の開発と国際特許の取得	協和空研(有)	787,000

< 内訳 > ものづくり支援助成金

	テーマ	企業名	助成額(円)
1	より質の高いマンション生活の改善を提案する総合コンサルタントネットワーク事業(管理組合運営の補助コンサルタント、資産コンサルタント)	(有)アーク・アメニティ	1,040,000
2	寿司皿の回収と飲食代金の精算を兼ねた「キャッシングカート」の製品化	(株)ハイサーブウエノ	2,850,000
3	荷物等の積降しが出来 尚且つ昇降機自体も荷台に容易に積降しが出来る昇降機「あが～る」	(株)シップ	1,150,000
4	超精密低抵抗器を応用した自動車バッテリー寿命管理装置の開発	(株)ピーシーエヌ	1,474,000
5	降雪強度計及び節水型消雪ポンプ盤の実用化	近藤電機(株)	1,350,000
6	磁石埋め込みオールチタン・ネックレス・ブレスレットの開発	ジェイ・ティ・メタル(株)	2,350,000
7	チタン製二重シェリーグラス及びビールグラスの試作	(株)セブン・セブン	2,850,000
8	LEDを利用した手すり棒常夜灯の開発	第四電設(株)	2,850,000
9	低価格正絹着物の開発	根茂織物(株)	2,700,000
10	山羊乳を活用した加工食品の開発	ファーストファーム(株)	1,900,000
11	山林の間伐材を効率的に集材するための高性能小型林業機械の開発	館脇信王丸	2,850,000
12	陸上鮑養殖事業	(株)ゆめ企画名立	1,741,006
13	総てのスノーボードブーツに対応出来るステップイン型ビンディングの開発・商品化	(株)クレブ	2,850,000
14	マルチファンクションジョイントのレベルアップとシステム化	(株)パイプシステム新潟	2,300,000
15	医療人間工学にもとづくユニバーサルデザインカトラリーの開発	(株)コラボ	2,850,000

< 内訳 > 地域戦略技術開発助成金

	テーマ	企業名	助成額(円)
1	ステンレス鋼板の温間絞り・しごき加工技術開発	(株)ハシモト	579,292
2	スポット光方式高精度自動形状測定技術の開発	(株)第一測範製作所	1,846,640
3	ニッケルフリーステンレス材の医療機器分野における需要調査	明道メタル(株)	1,839,583
4	動物用「ペースメーカー」の研究開発	エフテック(株)	2,000,000
5	マグネシウム合金製自走式車椅子の開発	田辺プレス(株)	1,797,350
6	レーザによる発色技術の確立	板垣金属(株)	2,000,000

にいがたニューエジソン育成

独創的な技術やアイデアをもとに県内で創業しようとする起業家に対する支援

・助成金 9 件 58,847 千円

< 内訳 >

認定年度	事業者名	テーマ	助成額 (千円)
14 継続	(株)ジューズ	河川環境の設計と管理・防災システムの構築	3,000
14 継続	(株)ストリサーチ	携帯電話料金減算システムを用いたマーケティングリサーチ	5,800
15 継続	(株)プロソル	郵便物費用軽減サービスとそれを利用した社会貢献システムの構築	5,300
15 継続	(株)インフォス	インターネットを利用した地盤情報配信システム	9,000
15 継続	(株)万代萬屋	新潟開催のコンパニションの支援及び主催代行業務	557
16 新規	(株)SENA	地酒グローバルマーケティング事業	7,690
16 新規	ストリア(株)	自作加圧メイド向け、プレカット素材キットの製造販売	9,000
16 新規	(株)ファンタジスタ	産学連携をベースとした3DCG・デジタルコンテンツ制作スタジオの開設	9,000
16 新規	(株)KOTs	3次元下肢アライメント評価システムの製品化とこれを用いた整形外科施術支援システムの開発並びに販売	9,500

コミュニティビジネス起業化支援

住民主体、地域密着型ビジネスの起業化に対する支援

・コミュニティビジネス講座の開催 ((財)ニューにいがた振興機構等と共催)

新潟、長岡、上越の3会場で開催

・助成金 2 団体 402 千円

< 内訳 >

事業者名	テーマ	助成額 (千円)
(有)イ-ワッパワーズ	「佐渡・トキ屋」プロジェクト	300
庄屋の郷づくり会	地元の安心・安全素材を活かした香辛料の開発	102

(3) 経営革新指導事業

経済社会環境の変化に対応し、中小企業者が行う創意工夫を活かした経営革新を支援するため、県からの受託により経営革新計画作成支援、審査会の運営及びフォローアップを実施した。また、地域での制度説明会の実施、NICOプラスでの特集などPRに努めた。

- ・計画作成支援 18社
- ・審査会開催 10回
- ・審査件数 73件
- ・フォローアップ調査 23社

(4) 起業化支援施設・交流拠点施設管理受託事業

万代島ビル11階の県の施設「起業化支援・交流拠点施設」の管理運営を県から受託した。

また、機構ホームページ等で広報するなど研修室・会議室の稼働率（昼間）の向上に努めた。

- ・稼働率（昼間） 56.8%（平成15年度45.7%）
- ・施設の内容 創業準備オフィス、会議室・交流ラウンジ、プレゼンテーションルーム・商談会、研修室

(5) 創造的中小企業創出支援事業

平成8年度より、将来的に株式公開を目指している創造的中小企業に対して投資事業を行ってきたが、新潟産業創造ファンドの立ち上げに伴い、平成15年度からは新規投資は行わないこととなった。

今年度からは、主たる業務が既存投資先への事後支援及び債権管理となり、支援が必要と判断された投資先に対し随時訪問し、事後支援等を行った。

- ・実施件数 38回

(6) 投資事業有限責任組合事業

「新潟産業創造ファンド一号投資事業有限責任組合」に対して、有望案件の情報提供を行ったほか、新潟投資検討会（6回開催）と組合員総会（1回開催）に参加した。

なお、平成16年度に「新潟産業創造ファンド一号投資事業有限責任組合」が投資実行した企業は5社であった。

- 《投資先企業》 (株)サン・システム、(株)アールキューブ、(株)コロボ、
コデラカブロン(株)、アグリフューチャー・じょうえつ(株)

3 マーケティング総合支援

マーケティング重視による新商品開発、新事業展開に取り組む企業等に対して、企画、開発、販売の各段階におけるマーケティング活動を支援した。

(1) マーケティング支援事業

意識付けと情報提供

ア 市場トレンドワークショップ

首都圏に市場拡大を目指す企業を対象に「首都圏流通研究会」を実施し、有識者による首都圏における最新の情報提供や、商品企画書の作成をワークショップ形式で指導した。今年度は生活用品と食品の2テーマを実施した。

・生活用品 17社 食品 12社 計29社

企画開発段階での支援

ア 商品開発ラボラトリー

デザイナー等専門家の協力のもと、市場調査や商品企画・開発、デザイン開発などについて、指導、アドバイスをを行った。

・6回開催 14社(食品4社、モノ9社、IT1社)

イ 商品化・事業化可能性調査(FS調査)

有望なビジネスプラン等に対して、大学や調査研究機関等を活用し、素材・製品の技術データ等の可能性調査を実施した。

・「健康・快適生活に向けての生活者の不便・不満点抽出調査」等 8件

ウ テストマーケティング

試作品等について、モニターから意見・感想を聴取し、生の声や分析結果をフィードバックした。

・「ほのぼの湯のみ」等 2社 2件

セールスプロモーション段階での支援

ア 流通開発ラボラトリー

流通(小売、卸等)の専門家の協力のもと、販売先の小売や卸の橋渡しなど、主に首都圏の市場開拓を目的に指導、アドバイスをを行った。また、2月に新宿高島屋にて「ハンズ春の生活雑貨市」を実施した。

・5回開催 59社

イ 日本橋自主又は共催イベント

(ア) 日本橋・にいがた館 NICO プラザにて、首都圏に向けて新潟の商品・技術の情報発信を行った。

・5回開催 45社

IDS&G マーク NIIGAT MONO COLLECTION (9月1日~6日)

にいがた地ビール展 (9月9日~12日)

長岡未来技術創造会議展示会 (9月16日・17日)

新潟クオリティーオブライフプロダクト展 (12月16日～18日)

にいがた酒の陣 in 日本橋 (1月20日～23日)

(イ) 表参道・新潟館ネスパスにて展示販売イベント「Xマス・mono・Collection」を実施した。

・12月1日～5日 37社参加

ウ IDS デザインコンペティション

新商品やシステム提案について、県内の企業から作品を募集し、各界の第一線で活躍している専門家から評価を得るコンペティションを開催した。

・募集テーマ 「生活ブランドの確立 (Mono&System) をめざして #2」

・会場 長岡造形大学NIDホール

・審査委員

審査委員長 豊口 協 長岡造形大学理事長

審査委員 鎌田 豊成 長岡造形大学学長

喜多 俊之 (株)IDK デザイン研究所代表取締役

キュー・リーメイ・ジュリヤ

(株)国際デザインセンター海外ネットワークディレクター

土居 輝彦 (株)ワールドフォトプレス編集局長

野谷 雄二 (株)東急ハンズ執行役員新宿店長

日高一樹 日高国際特許事務所所長

泉田 裕彦 新潟県知事

・参加企業数 51社 69点参加

・日程

審査 平成17年1月20日(木)

表彰式 平成17年1月21日(金)

公開 平成17年1月21日(金)～23日(日)

来場者 1450人

・受賞企業

受賞区分	出品者名	受賞作品	所在地
I D S大賞	五十嵐工業(株)	夢の雨水利用システム「ホームタンカー100L」	長岡市
I D S準大賞	(有)桑原粘土配合工場	バズロック	阿賀野市
I D S賞	MONO部門	工房緑林舎	身おろし一発!! 魚ッ平(さかなっぺ)
	MONO部門	(株)兼古製作所	スリット・ドライバーシリーズ
	SYSTEM部門	(株)パイプシステム新潟	ボルトレスフランジorワンボルトフランジ
	SYSTEM部門	安達紙器工業(株)	(仮称)災害時緊急避難所用更衣室&授乳室
I D S審査委員賞	豊口 協	村山大介陶芸研究所	「そばがら」が育んだ粋なそばの器たち
	鎌田 豊成	(株)イシモク	桐子モダンコレクション'05 ベビーベッド 天使の詩
	喜多 俊之	プリンス工業(株)	鱗取り
	キュー・リーマイ・ジュリヤ	ピーエムジーエー(株)	ナビテック・ナビゲーション・コントローラー
	土居 輝彦	足立茂久商店	抹茶フルイ 絹網製
	野谷 雄二	(株)マルト長谷川工作所	三条鍛冶の技 日本の伝統工具シリーズ「喰切・八
	日高 一樹	ツインボード工業(株)	防水液晶テレビ/5型 stereo ZABADY
	新潟県工業技術総合研究所	(株)ツバメックス	マグネシウムアタッチケース Maaffort(マア)
I D S特別賞	三条デザイン研究会		三条市

(2) 取引連携推進事業(取引適正化・苦情紛争処理、取引推進情報提供)

県内企業の販路開拓を支援するため、個別企業に対する取引先紹介あっせんその他、商談会の開催や展示会への出展支援、販路開拓アドバイザーの活用による県外発注開拓等を実施した。

また、創業者や中小企業者が抱える各種の問題に対し法的に問題解決を図るため、弁護士、弁理士相談会をはじめ、個別相談に応じる「取引適正化・苦情紛争処理」を行った。

個別企業に対する取引先の紹介あっせん

	紹介あっせん件数	成立件数	成立金額(千円)
平成16年度	285件	36件	63,584千円
平成15年度	362件	54件	150,969千円

商談会等開催事業

ア 広域商談会の開催

開催日	開催場所	参加企業数		商談件数	商談成立件数	商談成立金額
		発注	下請			
H16.7.22	都道府県会館	14社	33社	104件	3件	5,075万円
H17.2.24	表参道・新潟館「ネスパス」	12社	32社	86件	1件	34万円

イ 展示商談会の開催

・実施概要

	トヨタ展示商談会	ソニー展示会
開催日	平成16年11月17日～18日	平成17年3月10日～11日
開催場所	トヨタ「サプライズセンター」	ソニー「品川TEC5階」
出展企業数	51社	42社
来場者数	1,222名	616名

・商談実績

	トヨタ展示商談会	ソニー展示会
商談件数		
(1) 商談成立	3	0
(2) 試作品の製作	8	12
(3) 見積取り交わし	13	1
(4) 提案事項提出	17	4
(5) 工場見学済み	2	0
(6) その他	10	29
商談成立金額(千円)	14,380	0
商談折衝中件数	21	10

商談実績は開催1ヵ月後の追跡調査の結果を計上した。

取引推進業務遂行状況

		本年度中の数	うち広域	うち当該県
登録 企業数	発注企業	9	7	
	受注企業	14	0	
発注申し出件数		124	50	
受注申し出件数		49	0	
あっせん紹介件数		285	148	148
あっ せん 紹介 結果	成立件数	36	21	21
	不成立件数	120	60	
	折衝中の件数	259	132	
契約成立当初受注金額 (千円)		63,584	48,009	48,009
指導 ・ 相談 件数	あっせん相談関 係	1,515	498	
	経営関係	106	4	
	技術関係	12	0	

	苦情・紛争関係	2	0
	その他	69	2
	計	1,704	504
発注開拓企業数		519	380

(3) 販路開拓支援事業

販路開拓アドバイザーの人脈や専門知識を活用して、主に関東圏の有力企業を訪問し、新潟県内下請中小企業のPRと具体的な発注案件の掘り起こしを行った。

・活動日数	484人日	・問合せ・紹介件数	62件
・訪問件数	656社	・取引成立件数	2件
・発注案件数	35件	・取引成立金額	161万円

(4) 首都圏マーケティング支援拠点運営事業

県内企業から首都圏における市場開拓、販売促進、情報収集など首都圏において新たなビジネスチャンスを開拓するための活動拠点として利用してもらうため、東京都中央区日本橋にビジネスサポートセンターを開設し、その効果的運用に取り組んだ。

長期ブース

首都圏に営業所を持たない県内中小企業8社が入居し、新たなビジネスチャンスの開拓に取り組んだ。

展示交流スペース

7月20日の開業以降、54企業が利用し、イベント開催日数は167日（自主イベント含む）を数え、食料品製造業、繊維製品製造業、木製品製造業、金属製品製造業、一般機械・精密機械製造業など様々な県内産業の情報を発信した。

・成立商談件数	154件
・入場者数	約42,000人

支援目的	企業名	業種	イベントテーマ(タイトル)	期間	入場者数
新商品・新技術の発表会・商談会	(株)ツバメックス	一般機械器具製造業	マグネシウム製品新作発表会	8月4日～8月6日	502
	ピーエムジーエー(株)	金属製品製造業	新作ゴルフクラブ展示会	8月23日	45
	NICO	その他	ID S & G NIIGATA MONO COLLECTION	9月1日～9月6日	739
	長岡未来技術創造会議 NAGAT	精密機械器具製造業(ナノテク関連)	未来はDo - Nano展	9月16日～9月17日	347
	(有)コデラエンジニアリング	金属製品製造業	家庭や会社でミネラルウォーターを作る携帯用浄水器「カッパー君」	10月5日～10月7日	247
	(株)ワタナベ	金属製品製造業	雪国からのクリスマスプレゼント - 白銀&雪の結晶 -	12月13日～12月14日	200
	NICO	その他	新潟クオリティオブライフプロダクト展 - にいがた発暮らしを豊にするモノづくり展 -	12月16日～12月18日	1,006
新規創造型の商品・技術・システム発表会・商談会	新潟県東地域地場産業振興センター	その他	グッドデザイン賞2004受賞新潟県商品展	12月19日～12月21日	762
	頸城建設(株)&JA柏崎	農業	今年の新米入荷! にいがた・こだわり米フェア	10月16日～10月20日	1,200
商材提案型商談会(季節型プロモーション)	(株)越後花びら茸	食品販売業	越後花びら茸関連商品試食会	11月8日～11月9日	42
	日本スリービー・サイエントیفック(株)	輸入業	3B Scientific商品展示会	10月12日～10月14日	1,080
ブランド訴求型販売会	堀岩(株)	繊維製品製造業	05秋冬物提案商材会	11月17日～11月18日	67
	(有)高橋建具製作所	建具製造業	簾戸の展示商談会	7月26日～7月27日	330
	FreeFrom	繊維製品製造業	小千谷縮を現代にいかす	8月7日～8月9日	343
	染織工房きはだや	繊維製品製造業	縮の会～Shima no E～	8月24日～8月26日	261
	にいがた地ビール5社	食品製造業	喉ごし爽やか、にいがた地ビール・フェア	9月9日～9月12日	800
	(株)イシモク	家具・木製品製造業	2004住まう・桐の魅力展	9月22日～10月3日	1,425
	(株)諏訪田製作所	金属製品製造業	SUWADA	10月21日～10月27日	350
	(株)上林繊維	繊維製品製造業	昔しくつ下展示即売展	11月3日～11月4日	200
	(株)長谷弘工業	金属製品製造業	聴こう! ハセヒロ・バックロード2004	11月6日	130
	染織工房きはだや(2)	繊維製品製造業	いと・いと・いと・いと	11月12日～11月14日	376
	(有)祭り屋木材	家具・木製品製造業	無垢の魅力を感じる一週間「祭り屋」秋の家具フェア	11月19日～11月25日	526
	(有)茂野タンス店	家具・木製品製造業	伝統の復活 現代桐家具の提案 - 海外へ出ていきりた	12月23日～12月27日	270
	(有)浅野タンス	家具・木製品製造業	桐の浅野「匠の技展」	1月8日～1月16日	520
	(有)祭り屋木材(2)	家具・木製品製造業	自然の美しさを暮らしに生かす - 祭り屋新春家具フェア -	1月24日～1月30日	826
	(有)フォルツ 他	繊維製品製造業	ボトムもトップもニットでコーディネート	2月24日～2月28日	874
	(有)石川シルク 他	繊維製品製造業	「絹・桐・藍」コラボレート・ファッション展	3月4日～3月8日	1,050
	あかい酒協同組合	酒類製造業	春です。お祝い。あかい酒!	3月12日～3月15日	2,785
	染織工房きはだや(3)	繊維製品製造業	「縮・百様」	3月18日～3月21日	444
	(有)祭り屋木材(3)	家具・木製品製造業	一生ものの家具に出会える喜び - 祭り屋 春の原木家具フェア -	3月22日～3月28日	2,100
	テストマーケティング	(株)青柳	繊維製品製造業	和國 - WAPON - からはじまる和すたいる 絹の生活装具	10月29日～10月31日
湯之谷山菜加工農業協同組合(株)ゆのたに:販		食品製造業	越後・湯之谷フェア	11月26日～12月8日	5,160
(株)青柳(2)		繊維製品製造業	和國からはじまる和すたいる 絹の生活装具展	12月10日～12月12日	151
(株)越後花びら茸(2)		食品販売業	- グルカンが豊富な美味しいきのこ 試食・販売会	2月3日～2月5日	810
研究会・セミナー	NICO	その他	首都圏流通研究会(食品グループ)	10月4日	9
	NICO	その他	首都圏流通研究会(生活市場グループ)	1月19日	18
	(株)不二商	建設業	地盤・安心道工法事業説明会	2月1日～2月2日	11
	NICO	その他	首都圏流通研究会(生活市場グループ)	2月21日	17
	NICO	その他	首都圏流通研究会(食品グループ)	3月11日	15
	NICO	その他	首都圏流通研究会(生活市場グループ)	3月30日～3月31日	30
交流会	NPO法人Made in 越後	その他	Made in 越後 東京がっとう会	12月3日	20
	NPO法人Made in 越後(2)	その他	Made in 越後 東京がっとう会	2月1日	16
	NPO法人Made in 越後(3)	その他	Made in 越後 東京がっとう会	3月1日	15
中越地震復興支援	新潟県観光協会 他	その他	がんばってます!! にいがた in NICOプラザ	12月28日～12月29日	1,500
	新潟県酒造組合	その他	にいがた酒の陣 in 日本橋 - 元気で新潟淡麗	1月20日～1月23日	4,650
	小千谷市産業開発センター	その他	ガンバってます! 新潟小千谷から感謝を込めて - ありがとう物産展 -	2月8日～2月12日	8,871

商談室及び短期ブース

展示交流スペース利用時の商談の場や首都圏出張時における商談場所として47社119回の利用があった。

また、コーディネーターやメンターの相談場所としても利用された。

4 経営改善支援

中小企業が経済的環境の変化等に対応していくための商品・技術・サービスの高度化、仕入れ・販売・生産管理のIT化など、経営改善・経営基盤の強化を支援した。

(1) 商業診断受託事業

商店街や協同店舗組合が行う高度化事業に対し、調査票やヒアリングをもとに経営環境、組合財務、運営方法、テナントリーシング等について把握し、助言を行った。

集積区域整備事業	1件
施設集約化事業	5件
事前・事後指導	33件
計	39件

(2) 工業診断受託事業

高度化事業の実施を計画、または実施済みの組合等に対し適正な運営の確保を目的とした診断助言を行った。

また、本年度は、7月の水害、10月の震災発生により、被災した地区における企業の生産活動早期再開を支援するため、高度化計画診断、高度化計画診断実施前の事前助言をそれぞれ行った。

工場団地診断	4件
共同施設診断	2件
事後助言・事前助言	6件

(3) 企業立地支援給付金受託事業

新潟県内の原子力発電施設周辺地域内の立地を促進するための支援事業に関し、立地支援給付金の応募企業について、要件適否の確認及び給付金額の算出を行った。

なお、本事業は平成16年度上半期をもってNICOとしての受託は終了した。

・平成16年度審査件数 65件

(4) 講習会等開催事業

中小企業総合事業団と連携して、関係する中小企業及び商工支援機関等を対象に、次の講習会を開催した。

化学物質管理対応講習会

- ・開催日 平成 16 年 8 月 5 日 (木)
- ・開催場所 三条市 「三条・燕地域リサーチコア」
- ・講師 (独)製品評価技術基盤整備機構 専門官 木村 仁 氏
(独)製品評価技術基盤整備機構 主任 山本耕一 氏
- ・参加者数 102 名
廃棄物処理法・建設リサイクル法対応講習会
- ・開催日 平成 16 年 9 月 16 日 (木)
- ・開催場所 三条市 「三条・燕地域リサーチコア」
- ・講師 (独)中小企業基盤整備機構 経営支援専門員 千葉 任 氏
- ・参加者数 170 名
土壌汚染対策法対応講習会
- ・開催日 平成 16 年 10 月 22 日 (金)
- ・開催場所 三条市 「三条・燕地域リサーチコア」
- ・講師 (株)インターリスク総研 環境部 主席研究員 木下弘志 氏
- ・参加者数 137 名

(5) 中小企業等情報化促進事業

IT 専門家派遣等による相談・アドバイスの実施

コンピュータ導入による経営管理の合理化や高度化を計画している企業やコンピュータ利用上の問題を抱えている企業に対して、中小企業総合事業団と連携して「IT 推進アドバイザー」を派遣するなど、本県中小企業の情報化を促進した。

- ・今年度実績：1 件

県内企業 IT 関連実態調査の実施

県内企業の情報化に対する取組状況を把握することにより、今後の地域情報化の一層の促進を図るための基礎資料とする。

平成 16 年 8 月に県内企業 3,000 社を調査対象に実施し、その結果をホームページに掲載した。(有効回答数：1,133 件、有効回答率：37.7%)

情報化推進研究会の開催

- ・テーマ：「SCM の実践的導入について」
- ・開催日 平成 16 年 9 月から平成 17 年 1 月
- ・場 所 県央地域地場産業振興センター
- ・参加者 延べ参加者数 30 名 (全 4 回実施)

IT 推進セミナーの開催

- ・開催日 平成 17 年 11 月 29 日 (月)
- ・場 所 県央地域地場産業振興センター
- ・セミナー 1 テーマ：「我社の IT 活用の成功要因について」

講師：沢根スプリング(株) 代表取締役 沢根孝佳 氏
 ・セミナー2 テーマ：「ビシバシ検索に引っかかる SEO 対策」

講師：(有)アイ・リンク・コンサルタント 代表取締役 加藤忠宏 氏
 ・参加者数 86名

小売商業情報支援

ア 中小小売商業者の活性化セミナーの開催

・開催日 平成16年11月17日(水)

・場所 新潟市「万代島ビル11階」

・セミナー1 テーマ：「城下町村上活性化への軌跡」

講師：村上町屋商人会会長 吉川真嗣 氏

・セミナー2 テーマ：「動き出せ！商店街」

講師：品川区商店街連合会副会長 綱島信一 氏

・参加者数 70名

イ ビデオソフト貸出サービスの実施

ビデオソフトの視聴・貸出サービスを行うほか、10階ビデオライブラリのコーナーに、来訪者向けの閲覧スペースと書棚を設置し、本年度新たに68本のビデオソフトを整備してビデオソフトライブラリーの充実に努めた。

<ビデオソフトの貸出状況>

区分	平成14年度	平成15年度	平成16年度
利用件数	644	411	612
貸出本数	2,319	1,372	2,300

(5) 設備導入支援事業

設備貸与事業

小規模企業の生産性の向上等、経営基盤強化を支援するため、長期かつ低利な割賦販売あるいはリースを行った。一部に堅調な動きが見られたものの、金利の割高感からか、全般的に投資意欲は低調に推移した。

申し込み、実行ともトータルで前年度を下回り、事業枠12億円に対する消化率は28.2%にとどまった。

<申込・決定状況>

(金額単位：千円)

制度枠	当初 事業額(A)	申込状況			決定状況			
		件数	金額	対前年 比率%	件数	金額(B)	比率 B/A	対前年 比率%
割賦	600,000	33	358,595	69.6	21	147,864	24.6%	36.9
リース	600,000	25	315,122	80.0	16	191,564	31.9%	57.8
合計	1,200,000	58	673,717	74.1	37	339,428	28.2%	46.4

<業種別申込・決定状況>

業種名	申込状況			決定状況		
	件数	金額	比率%	件数	金額	比率%
建設業	7	66,638	9.9	4	39,060	11.5
製造業	40	454,927	67.5	28	275,683	81.2
小売・卸売業	3	8,529	1.3	2	3,568	1.1
サービス業	5	101,712	15.1	2	10,617	3.1
その他	3	41,911	6.2	1	10,500	3.1
合計	58	673,717	100.0	37	339,428	100.0

設備資金貸付事業

小規模企業の生産性向上等、経営基盤強化を支援するため、設備の導入に際して無利子貸付を行った。貸付実行件数で42件、貸付金額で424,160千円の実行となった。前年度比185.5%となり当初事業枠4億円を上回ったため、期中に2億円の増額をすることにより対応した。

<申込・決定状況>

当初事業額 (A)	申込状況			決定状況			
	件数	金額	対前年 比率%	件数	金額(B)	比率 B/A%	対前年 比率%
400,000	52	553,330	198.9	42	424,160	106.0	185.6

(注) 事業額については、期中に200,000千円増額した。

<業種別申込・決定状況>

業種名	申込状況			決定状況		
	件数	金額	比率%	件数	金額	比率%
建設業	10	90,080	16.3%	9	74,080	17.5%
製造業	31	371,930	67.2%	27	317,630	74.9%
小売・卸売業	6	32,780	5.9%	4	22,550	5.3%
サービス業	5	58,540	10.6%	2	9,900	2.3%
その他	0	0	0.0%	0	0	0.0%
合計	52	553,330	100.0%	42	424,160	100.0%

県単設備貸与事業

平成14年度までに設備の貸与を受けた企業に対して、貸与した設備の稼働状況および債権管理等を目的とした事後指導を実施した。

・巡回件数 5件

設備近代化等債権管理受託事業

県が中小企業者等に貸付、償還期限までに償還されない未償還金の収納事務を行った。

- ・設備近代化資金延滞案件回収督促企業数 12件
- ・設備合理化資金延滞案件回収督促企業数 8件

(6) 高度化等基金事業

中心市街地商業活性化事業

中心市街地活性化基金（高度化資金借入れ）の運用益と同額程度の県補助金を合わせてタママネメント機関(TMO)が行う活性化事業を支援した。

当初4団体から5件の申請があり、その後「震災復興」のため1団体から1件の申請がなされ、これらに対して「中心市街地商業活性化推進委員会」に諮り、次のとおり助成した。

事業区分	件数	金額(千円)
広域ソフト事業	3	6,879
事業設計・調査・システム開発事業	2	1,901
コンセンサス形成事業	1	1,800
計	6	10,580

繊維産地活性化推進事業

繊維産地活性化基金（高度化資金借入れ）の運用益と同額の県補助金を合わせて繊維関連事業協同組合が行う事業に対し、次のとおり助成した。

事業区分	件数	金額(千円)
展示会・イベント、広報宣伝事業	2	3,700
情報ネットワーク化支援事業	3	5,900
計	5	9,600

5 国際化支援

海外の企業と連携し、独自のビジネスモデルを構築しようとする企業を総合的に支援した。

(1) 新潟県発国際ブランド創造事業

新潟地酒海外プロモーション研究会

- ・日時：平成16年10月12日
- ・参集者：新潟県酒造組合、(株)SENA、JETRO 新潟、新潟県醸造試験場、NICO
- ・主な議題：16年度新潟地酒海外プロモーション計画等

海外市場調査

米国ロサンゼルス、ニューヨークの日本酒市場について、JETRO に委託し調査を実施した。

また、台湾について、平成 16 年 6 月 17 日から 20 日に開催された、「FOOD TAIPEI 2004」に地酒を中心とした県産食品を出展し、台湾日本酒市場の現地調査を実施した。

消費者新潟地酒セミナー、利き酒会開催

(台湾)

台湾三越天母店において新潟物産展(台湾三越天母店オープニングでの新潟物産展開催)を開催し、台湾の消費者に新潟地酒を PR した。

- ・ 期間：平成 16 年 12 月 24 日～平成 17 年 1 月 2 日(10 日間)
- ・ 場所：台湾新光三越天母店 地下 1 階
- ・ 主催：(財)にいがた産業創造機構、(社)新潟県産業貿易振興協会
- ・ 貿易担当：(株)沖縄物産企業連合
- ・ 参加企業：職員派遣企業 12 社・15 名
- ・ 来場者：10 日間で 30 万人(店舗全体)
- ・ 売上額：571 万円(12 社・団体)

(米国)

新潟県酒造組合に補助金を交付し、県下全蔵元が参加する県内最大の地酒イベント「にいがた酒の陣」に米国酒類関連企業、マスコミ関係者を招聘、新潟地酒及び新潟県の米国における知名度の向上を図った。

ニッチトップ海外展開支援

ア ニッチトップビジネス研究会

- ・ 内部検討会の開催
NICO 内部各チーム関係者によるミニ講演会と内部検討会を開催した。
- ・ ニッチトップセミナー開催
新潟、長岡会場でニッチトップセミナーを開催した。
期 日：平成 17 年 1 月 19・20 日
参加者数：79 名

イ 県内ニッチトップ企業調査

日比弁理士による現状における県内のニッチトップ企業へのヒアリングを実施した。

(2) IDS 百年モノがたりプロジェクト事業

「100 年後にも大切にしていきたい生活文化を楽しみ、維持し、継承していくための道具」をテーマに本県産業の持つ優れた技術を活かした「次代のホンモノ」

の商品開発を、統一コンセプトに基づき二つのジャンルについて行い、「アンビエンテ・メッセ・フランクフルト2005」へ出展し、世界に向けて提案した。

実施体制

機構の担当ディレクター以下プロジェクトチームを設置、外部専門家の協力と、良質なものづくりを行えるポテンシャルと商品企画開発から製造・出展まで応分のリスク負担が可能な企業の参加を求めて一体的に推進した。

- ・統括マネジメント：中村正樹氏（株）環境構造研究システム 代表取締役）
- ・デザインマネジメント：佐藤康三 氏（コゾーデザインスタジオ代表取締役）
安次富 隆 氏（有）ザートデザイン代表取締役）
- ・プロモーションマネジメント：曾衛斌 氏（有）隆華トレーディング）

テーマと参加企業、開発アイテム

- ・テーブルウェア、参加7社、32アイテム
「ヨーロッパへ日本の食文化の楽しみを創造付加する新潟発提案」
- ・MY ツール、参加9社、25アイテム
「ヨーロッパと日本の次世代の生活者へ優れた生活を創り出し維持していく、優れた道具の新潟発提案」

出展概要

- ・出展見本市名：アンビエンテ・メッセ・フランクフルト2005
- ・会期：平成17年2月11日～15日
- ・出展号館とブース：Halle3.OF34JETRO ジャパンブース内(約27平米)
- ・情報発信：英語版カタログを製作し会場で配布。DMに同封するため及びメッセ期間中に配布する目的のリーフレットを製作。また、アンビエンテの機関誌「TOPFAIR」に広告を掲載した。

出展成果等

- ・ブース入場者数：450人
- ・引き合い数：110件(23カ国)
- ・商談継続中：35件
- ・成約数：4件(4月19日現在)
- ・デザインプラス出品：アンビエンテ出展の中から優れたデザインの商品を選ぶ「デザインプラス」に7品目を出品し、安達紙器工業(株)の「PaperMadePaperKnife」が受賞(全体では330点が応募、40点が受賞)
- ・受注支援活動：プロモーションマネジメントの委託先により、出展期間中の受注支援をはじめ、会期終了後の受注支援を継続している。また、メッセ主催者の日本法人及びJETROのアドバイスにより、メッセ直前・直後の直接商談とPR、情報収集を実施した。

6 企業再生支援事業

支援業務責任者及びそれを補佐する窓口専門家2名、また事務処理を行う事務局員、事務員を配置し、全体会議で定められた事業実施基本要領に基づき、個別中小企業からの再生に関する相談内容に応じた支援業務と事務処理を行った。

実績として、第一次対応案件は126件（延べ件数258件）、第二次対応（再生計画策定支援）完了案件は9件（延べ件数15件）、対応企業数は43社（延べ企業数109社）となった。

7 産学連携支援

大学と企業をコーディネートし、コンソーシアムの形成を図る等、産学連携をトータルに推進するための各種事業を実施した。

(1) 産学連携事業

産学連携を促進するため、企業・大学を訪問し、共同研究をコーディネートを行い、各種研究会を開催した。

産学連携委員会

第1回目（10月13日開催）

第2回目（3月28日開催）

議題：平成16年度産学連携重点事業についての報告、産業創造プロジェクトについての報告など

産学交流研究会

・研究会・交流会の参加者（4月～3月実績）：1,581

・研究会：先進的金型研究会、にいがたナノテク研究会、ブランド・ニイガタ食品開発研究会、産学連携形成交流会（新潟地域）、医療産業創出を目指す産学官交流会、信越ハイテク・コリドー・プラン、地方発信技術交流会等

産学連携コーディネート

企業・大学への訪問件数（4月～3月実績）：1,630

大学発人材開拓

インターンシップ企業数：3社（4名）

・セレクト（越路町）：揚貝・魚アラ発酵処理機ほか

・インフォース（新潟市）：地盤データ配信等

・エフテック（新潟市）：電子回路機器等の設計・製造・販売

(2) 先導的戦略研究事業

戦略技術開発研究等の研究テーマの実現可能性、技術的可能性、事業可能性等に

ついて検証するため、新潟県工業技術総合研究所に調査研究を委託した。

- ・ テーマ 小型・超精密な加工技術に関する研究調査
次世代デバイス設計とその応用製品開発
ニューメタルマテリアルとその加工法に関する調査研究
機能性ナノ材料に関する調査研究

選定した4テーマのうち「小型・超精密な加工技術に関する研究調査」と「機能性ナノ材料に関する調査研究」については、NICOの主催する「にいがたナノテク研究会」と連携し、調査を進めた。また、「次世代デバイス設計とその応用製品開発」については、NICOの主催による「電子デバイス研究会」を、「ニューメタルマテリアルとその加工法に関する調査研究」については、「先進的金型研究会」を開催し、産学連携の可能性を検討した。

その結果、4テーマのうち下記とおり2テーマについては国の競争的資金へ応募することとなった。

次世代デバイス設計とその応用製品開発：総務省1件

ニューメタルマテリアルとその加工法に関する調査研究：経済産業省3件

なお、ナノテク関連の「小型・超精密な加工技術に関する研究調査」と「機能性ナノ材料に関する調査研究」については、ナノテク研究センターの活用と併せて、次年度に競争的資金への申請を計画している。

(3) 戦略研究事業

「MEMS製品製造プロセスの開発」について県工業技術総合研究所に研究を委託した。

露光装置による微細パターンの形成

MEMSパターンを試料基盤に転写するマスクアライナーを、ユニオン光学(株)に委託製作させた。装置搬入後、レジストの塗布条件・露光条件の最適化を行い、1ミクロン幅のパターンの露光に成功した。

ドライエッチングによる異方性・等方性制御方法の確立

ウェットエッチングでは、50%の水酸化カリウム溶液を60～70℃まで加熱し、ここにマスクアライナーでテストパターンを転写したシリコンウェハーを浸すことによって、異方性エッチング加工に成功した。ドライエッチングでは、ドライエッチング装置メーカーである住友精密工業(株)にデモ加工を依頼し、3ミクロン幅で深さ22ミクロンの深い溝加工ができていることを確認した。

カーボンナノチューブ(CNT)成長の制御方法の確立

CNT成長実験用装置・設備を設計し、ガスキャビネットから装置本体までを製作した。スパッタリングによる触媒金属のナノ薄膜形成、CNT成長装置の特性確認を行い、CNT成長に成功した。基板はシリコンウェハーおよび石英版を使用し

たが、両方ともCNTの成長が確認できた。CNTの成長触媒として、鉄・コバルト・ニッケルを使用した。ニッケルについては、5ナノメートルのときに最も高密度となり、CNTの直径も均一になる傾向のあることが確認された。

光送受信モジュールの試作

光導波路の設計ソフトについて、アールソフトデザイングループ(株)製のソフトを購入し、光部品である方向性結合器やMMIカプラーの設計および動作シミュレーションを行った。

(4) 産学リエゾン推進事業

地域のニーズに適合する研究課題を、大学研究者・大学研究者と企業との研究共同体を対象として公募し、研究開発を委託した。

- ・ 一般枠 6件 26,350千円
- ・ 産学連携枠 1件 6,500千円

(5) 産学官連携コンソーシアム研究開発事業

緊急地域雇用創出特別基金事業として県から受託し、4名を雇用して次の業務を実施した。

大学、企業等と連携を保ち、大学等の研究シーズと県内企業ニーズのマッチングを図り、産学官コンソーシアム形成の可能性について検討し、産学官の調整を行った。

マッチングできた案件について、各種助成金の活用等をしながら研究開発を行った。

(6) 科学技術振興事業

県内の科学技術振興に関する研究への支援や、人材育成を支援するため、次のとおり委託・助成した。

試験研究等事業

大学研究者等から研究テーマを公募し、12件について研究委託した。

人材育成等事業

助成案件：2件

(7) 地域新生コンソーシアム事業

経済産業省から「地域新生コンソーシアム研究開発事業」を受託し、当機構が管理法人としてプロジェクトの管理・運営をし、JFE精密(株)を中心とした再委託先が、Cr-Cu系新材料と簡略した粉末冶金プロセスを開発中である。

- ・ 研究実施者（再委託先）：JFE精密(株)、名古屋大学、田辺プレス(株)
- ・ プロジェクトリーダー：JFE精密(株) 商品開発室長 寺尾星明

・開発推進委員会

- 第1回開発推進委員会 8月20日(金)
- 第2回開発推進委員会 11月1日(月)
- 第3回開発推進委員会 12月22日(水)
- 第4回開発推進委員会 2月23日(水)

(8) エコアイランド佐渡事業

佐渡島で発生する汚泥、生ごみ、水産加工廃棄物等の混合消化方式のバイオガスプラントによるエネルギー回収事業を提案し、各種廃棄物・バイオマスの賦存量の把握と収集・運搬、バイオガス変換技術(混合消化)、発電・コジェネレーションシステム、残渣(廃液・汚泥)処理・処分等に関わる技術的および経済的可能性を評価した。

(9) テクノプラザ事業

信濃川テクノポリス債務保証事業

企業等が高度技術の開発や新製品開発の研究のための資金を金融機関から借り入れる際に、市町村が実施している低利融資制度利用を前提に、無担保の債務保証を行った。

- ・新規保証 0件
- ・保証残高件数 11件
- ・保証残高 91,164,800円

インキュベーション事業

起業化を目指す企業や研究開発型企業を支援するため「長岡リサーチコア・インキュベーションセンター(NARIC)」の貸室を低廉な料金で賃貸するとともに、各種支援制度を導入して、入居者の研究開発活動を支援した。

- ・入居企業数 10社
- ・ナリック交流懇談会の開催
- ・企業経営のためのアドバイス(弁護士要請1回)
- ・開放試験室無料開放
- ・テクノプラザ会議室及び研修室無料開放

ナノテク研究センター事業

超精密・微細加工技術の研究開発拠点としてナノテク研究センターを、「ながおか新産業創造センター」内に設置した。

本年度は、平成17年度からの利用開始に向け、電源地域産業集積活性化対策事業補助金を活用し、以下の設備を整備した。

機器名	概要説明
クリーンルーム (ドラフトチャンパー含む)	空気中の浮遊塵埃や温度・湿度を、目的に対応した基準で制御する実験室。クリーン度クラス1000に対応する。
ドライエッチング装置	被加工物(シリコンウエハやガラス基板等)の表面を化学的に除去加工する装置。
ダイサー	被加工物(シリコンウエハやガラス基板等)を所定の寸法により高精度で切断する装置。
電子線描画装置	ドライエッチング処理の際に用いるマスクパターン(加工しない領域を保護する膜)を精密に作製する装置。
スパッタリング装置	被加工物(シリコンウエハやガラス基板等)の上に、金属材料などの薄膜を形成させる装置。
精密加工室	精密加工を行うために内部の温度を精密に制御した加工室。当室の場合、プラスマイナス1度の精度で温度を管理する。
ナノ加工機(CAD/CAMシステム含む)	ダイヤモンド工具を用いた精密金属加工機的一种。各種の加工(旋作、ミリング、引き切り、研作など)を、ナノレベルの精度で行うことのできる能力を持つ。
非接触三次元測定機	光学的な測定により測定対象物の表面形状を測定する装置。測定を被接触で行うため、測定対象物に傷や歪を与えることなく正確な形状が測定できる。

特許情報活用事業

ア 特許流通の普及・PRji事業

特許流通促進セミナーin新潟(工業所有権総合情報館主催事業)に講師として参画した。

- ・期 日 平成17年3月9日(水)
- ・場 所 新潟県県央地場産業振興センター
- ・参加者数 約80名

イ 他組織活動との事業連携(大学・地元金融機関・商工会議所等)

産学ジョイント交流会inにいがたへ参画した。(長岡技術科学大学と共催)

- ・期 日 平成17年1月29日(土)
- ・場 所 長岡市ハイブ長岡
- ・内 容 新潟県知的所有権センターのブースに出展、PR、事業説明

ウ 普及活動、シーズ・ニーズ及びマッチング業務実績

- ・企業訪問 159社(目標:140社)

- ・ニーズ把握 46 件（目標：40 件）
- ・シーズ案件紹介 68 件（目標：60 件）
- ・成約 9 件（目標：12 件）

エ パトリス（工業所有権）・ジョイス（科学技術文献情報）検索サービス
 ・利用企業数：1 社（2 回）

産学連携研究支援事業

ア 大学連携事業

長岡技術大学及び新潟大学の技術・研究シーズプレゼンテーションを行った。

- ・産学官ジョイント交流会・長岡技術科学大学技術シーズプレゼンテーション

参加者数 187 名

- ・新潟大学研究シーズプレゼンテーション 参加者数 146 名

イ 緊急雇用事業

緊急地域雇用創出特別基金事業として県から受託し、2 名を雇用した。

大学、企業等との連携を保ち、大学等の研究シーズと県内企業ニーズのマッチングを行い、産学官コンソーシアム形成の可能性について検討し、産学官の調整を図った。

ウ 産学連携支援事業

大学等研究シーズと企業ニーズとのマッチングにより、新製品・新技術の創出を目指す研究共同体を組織し、地域新生コンソーシアム事業などの国助成事業等の活用促進を図った。

エ 経営セミナー・通信研究事業

長岡技術科学大学と共催し、中小企業経営者・管理職を対象にしたセミナーを開催した。

- ・経営革新情報交流会 2004
- ・生産部門新入社員セミナー
- ・TOCセミナー
- ・ビデオ研修

オ 異業種交流会（テクノブラザ21）

企業の経営者、管理者を対象として異業種交流会を組織し、毎月の例会において企業視察や情報交換、経営問題等に関する討論会を通して研究活動を行った。

カ コンソーシアム事業

国の研究開発公募事業として平成 15 年度に採択され、地域新生コンソーシアム研究開発事業の 2 年次目としての研究開発を行った。

- ・プロジェクト名 「高成形性マグネシウム合金板の高生産性一環プロセスの開発」
- ・研究代表者 (株)住友金属直江津
- ・研究機関 長岡技術科学大学、新潟県工業技術総合研究所

・参加企業 (株)住友金属直江津、住友金属工業(株)、日本ハ°-カーライツ°(株)

キ 高度測定器貸出事業

測定・試験室に導入した測定機器を地域の企業や大学研究者などに開放、貸し出した。

・利用件数 214 件

8 産業創造プロジェクトの推進

国等の研究開発委託事業等を積極的に導入して、産学官連携による新産業創出のための各種プロジェクトを実施した。

(1) IT 産業クラスター形成プロジェクト事業

地域内において蓄積されている資源（地域産業、大学、人材等）とIT関連産業が有機的に連携し、IT関連分野における新たなビジネスの創出や既存地域産業の新事業展開など、IT（情報通信技術：ソフトウェア、ハードウェア含む。）を競争力の資源とした産業群の形成を図るため、高度人材研修等を行った。

高度IT人材育成研修

IT産業クラスターの核となる高度IT人材を育成するため、ITスペシャリストの分野別に4コース、16講座の高度IT人材育成研修を実施した。受講実績は延べ206名であった。

プロジェクトマネジメントコース

番号		日数	期間 (第1クール)	受講者数	期間 (第2クール)	受講者数	期間 (第3クール)	受講者数
1	PM1 プロジェクトマネージャ標準研修	6	5/10～6/1	7	7/12～8/3	17	11/29～12/14	5
2	PM2 リスク管理講座	2	8/30～8/31	0	1/24～1/25	6		
3	PM3 品質管理講座	2	8/23～8/24	0	1/17～1/18	6		
4	PM4 プロジェクトマネージャ実務演習	2	9/6～9/7	8	2/7～2/8	0		
小計				15		29		5

ネットワークスペシャリストコース

番号		日数	期間	受講者数	期間	受講者数	期間	受講者数
5	NW1 ネットワーク構築標準研修	4	5/13～21	5	10/7～10/22	11	1/20～1/28	15
6	NW2 インターネットVPN実践講座	2	10/28～10/29	5	2/24～2/25	15		
小計				10		26		15

シスコ認定コース

番号		日数	期間	受講者数
7	シスコ認定 Building scalable Cisco Internetwork(BSCI)	5	1/31～2/4	4
8	シスコ認定 Building Cisco Remote Access Networks(BCRAN)	5	2/14～2/18	6
9	シスコ認定 Building Cisco Multilayer Switching Networks(BCMSN)	5	2/28～3/4	4
10	Cisco Internetwork Troubleshooting(CIT)	5	3/14～3/18	6
小計				20

アプリケーションスペシャリストコース

番号		日数	期間	受講者数	期間	受講者数
11	PF1 Windows Server標準研修	4	7/1～7/9	10	12/2～12/10	5
12	PF2 Linux標準研修(システム構築と管理)	4	6/10～6/18	6	11/11～11/19	4
13	PF3 Linux研修(Webサーバ構築)	2	6/24～6/25	6	11/25～11/26	0
14	DB1 データベース構築標準研修(Oracle編)	5	5/27～6/4	7	9/30～10/15	4
15	SA1 情報セキュリティアドミニストレータ標準研修	4	6/7～6/15	11	10/18～10/26	8
16	AP1 UML技術者標準研修	4	7/20～7/22	17	9/27～10/5	8
小計				57		29

第1クール計 102 第2クール計 84 第3クール計 20

全受講者数(延べ) 206

高度IT人材育成関連セミナー

研修の集客を目的に技術動向と研修概要を解説する概説セミナーを開催した。なお、新潟地域外(長岡、上越、柏崎、十日町 etc)でも受講可能なように遠隔セミナーの形態で実施した。

実施日	セミナー名	参加人数
16/4/21	プロジェクトマネジメント概説セミナー	27名
16/5/17	情報セキュリティ概説セミナー	25名
16/6/23	ERPパッケージの本質を探るセミナー	45名
16/7/29	ネットワーク構築技術概説セミナー	54名
16/9/8	データベース構築技術概説セミナー	14名
16/9/27	Linux & Linux Webサーバ構築概説セミナー	22名
16/10/21	ITスキル標準 活用事例セミナー	32名

高度IT人材育成カリキュラム検討委員会

平成17年度の研修カリキュラムを策定するにあたり、事業趣旨に沿った実効ある人材育成ができるよう、県内主要地域のITサービス企業及び教育機関、一般企業の人材育成責任者から構成されるカリキュラム検討委員会を5回開催した。なお、特別委員として情報処理推進機構（IPA）ITスキル標準センターとグローバルナレッジネットワーク㈱をお願いした。

	実施日	内容
第1回	16/9/15	高度IT人材育成研修の現状と課題、IT技術動向
第2回	16/10/21	公開委員会「ITスキル標準 活用事例セミナー」
第3回	16/11/26	県内企業IT実態調査報告、次年度研修の方向性
第4回	16/12/21	平成17年度研修カリキュラム案
第5回	17/1/14	高度IT人材育成からIT産業クラスター形成へ

行政システム研究会

IT産業クラスター形成促進の一環として、新潟地区と上越地区で県内ITサービス企業における自治体業務のスキルアップを目指しながらIT産業の活性化を推進するための研究会を開催した。参加メンバーは県、市、大学、県内該当地区のITサービス企業で構成し、地域事務局として新潟地区は新潟市ソフトウェア産業協議会、上越地区はNPO上越地域活性化機構が担当した。

（テーマ）

〔新潟地区〕 災害時におけるITを使った双方向型情報交換システムに関する研究

〔上越地区〕 GIS・GPSを活用した行政サービス

実施日	内容	会場	人数
16/9/15	第1回新潟地区会議	NICO	13名
16/9/27	第1回上越地区会議	上越JCV	12名
16/10/28	第2回新潟地区会議	NICO	10名
16/10/18	第2回上越地区会議	上越JCV	11名
16/11/18	韓国自治体職員との意見交換会	NICO	21名
16/11/19	講演「e-Japan 戦略の動向と地域情報化の取り組み」	ハミングプラザ	86名
16/12/9	第3回新潟地区会議	NICO	10名
17/3/15	上越地区研究成果発表会	上越JCV	60名
17/3/29	新潟地区研究成果発表会	ラントホテル	60名

戦略的情報化投資活性化支援事業（ITSSP）

経済産業省の公募事業であるITSSP経営者研修会をITC新潟及び新潟市異業種交流研究会協同組合の経営革新委員会と連携し実施した。経営革新及び戦略的IT化の意識の高い経営者（10社12名）が、自社の経営戦略立案および情報化企画書の策定の手法を講義とケーススタディを通して修得した。

	実施日	内容
第1回	16/9/3	事前説明会
第2回	16/9/10	オリエンテーション、経営戦略企画
第3回	16/9/11	経営に活かす戦略情報化企画
第4回	16/9/24	経営に活かす戦略情報化企画

IT関連団体の事務局業務

IT産業クラスター形成促進に向け県内ITサービス産業の競争力強化の基盤づくりを支援する目的で、「新潟県IT産業ネットワーク21」と「ITC新潟」の事務局をNICOに置いている。平成16年度の主な事業は以下のとおりである。

・新潟県IT産業ネットワーク21（会員数159社）

代表幹事：品田 勇（株）BSNアベット 代表取締役会長

平成16年度実施事業：新潟県ITサービス産業白書の作成、中国IT産業事情視察事業

・ITC新潟（会員数25名）

代表幹事：星野 雅博 NICO エグゼクティブエキスパート

平成16年度実施事業：ITSSP事業協力、研究会開催、新潟ビジネスメッセ出展

(2) フラットパネルディスプレイ関連産業群形成促進プロジェクト事業

大気開放型CVD法による機能性薄膜形成技術と、次世代表示装置製造関連技術の産業形成を図るため、次の活動を行った。

事業の実施状況

ア 普及講習会の開催（6月25日、3月19日）

イ 評価委員会の開催（3月19日）

ウ 周辺技術調査

県内外企業及び各研究機関に対して機能性薄膜に関する技術シーズ及び技術動向調査を行った。

エ 技術移転、マーケティング

県内企業に対する技術移転のための調査、および県内外企業に対する市場性・動向調査等を行った。

オ 研究委託

工技総研へ大気開放型化学気相析出法による薄膜作製技術及び薄膜評価技術に関する研究を委託した。

カ 備品購入

上記委託研究を遂行するために、備品（薄膜測定装置等）を購入し、工業技術総合研究所に貸与した。

(3) 医療産業創造プロジェクト事業

微細医療技術について、新潟大学を中心とした医療系大学や関連企業との連携による研究開発等を行った。

研究交流事業

- ・ 科学技術コーディネータによる産学官コーディネート、技術調査等
- ・ 産学官交流会の開催（7/14、8/27、11/16、2/28）

産学官共同研究事業

- ・ 生体機能を応用した高強度・長寿命デバイス及びインスツルメンツの開発
 - ・ ナノテクによる患部ピンポイント治療技術と装置の開発
 - ・ ナノ加工を利用した高寿命・超機能型歯科用インプラントや義歯等の開発
- 研究成果発表会（2/28）

評価委員による研究成果評価

(4) マグネシウム合金の次世代型製品開発プロジェクト事業

先端材料加工関連産業の創出や既存の精密機械産業・金属製品製造業の高度化・事業化のための研究開発等を行った。

科学技術コーディネータを雇用し、大学等のシーズおよび企業のニーズ調査を実施した。

（16年7月から17年3月までの訪問活動数：研究機関73回、企業90回、行政機関19回、展示会11回、学会6回、計199回）

- ・ 16年7月、科学技術コーディネータ2名採用。
- ・ 16年8月、本事業を周知するため、長岡市内にて産学交流会を開催。（参加者92名）
- ・ 16年9月、長岡技術科学大学・新潟工科大学・長岡工業高等専門学校等に対し研究委託。
- ・ 17年1月、本事業の進捗状況および関連した話題提供のための研究・講演会を開催。（参加者43名）

研究参画企業に限定した研究中間報告会（5テーマ）を開催。（のべ参加者44名）

- ・ 17年3月、16年度の研究成果および今後の研究予定について、長岡市内

にて研究成果発表会を開催。（参加者 61 名）

本事業の研究内容について、有識者を委員とした評価委員会を開催。

(5) 地域結集型共同研究プロジェクト事業

新潟県の技術力の強化と新技術、新産業の創出を図るため、にいがた産業創造機構が中核となり、「自立発展型アグリバイオ技術の開発」をテーマに、県内大学、研究開発型企業、公設試験研究機関が結集、連携して（財）科学技術振興機構（JST）に先端的な共同研究内容を提案した。

(6) 民生用ロボット研究開発プロジェクト事業

県内企業のロボット関連産業への参入を支援し、ロボット関連製品の製造からサービス提供までのロボット産業群を形成することを目的に、研究会活動、周辺技術調査、競争的資金を利用した試作開発を行った。

ロボット技術研究会

ロボット技術を活用すべき分野として介護支援の用途を設定し、高齢者が健康維持に用いるインテリジェントなトレーニング機を開発対象として、必要な機能などの検討を行った。

更に、この開発について、経済産業省の「人間支援型ロボット実用化プロジェクト」事業に応募することとし、日立製作所、長岡技術科学大学の大石教授、木村助教授、新潟大学の木竜教授、新潟県工業技術総合研究所ほかをメンバーとして準備を行っている。

民生用ロボット周辺技術調査

NEDO の「プロトタイプロボット実用化プロジェクト」の事業の一環として、このプロジェクトに採択された他のロボット開発団体と定期的に交流を持ち、これらのロボット技術について情報収集を行った。

今後、これらの人的ネットワークにより、技術的交流を行い、新しいロボットの開発ができる体制づくりを図る。

NEDO 委託事業による除雪ロボットのプロトタイプ開発

NEDO の「プロトタイプロボット実用化プロジェクト」を活用し、(株)技術開発研究所、新潟県工業技術総合研究所、新潟工科大学、山形大学工学部、及び当財団がコンソーシアムの形態で、除雪ロボットの開発を実施した。

この除雪ロボットは、GPS や外界センサを活用して指定の領域を自律的に除雪するもので、特色技術として、取り込んだ雪を内部で圧縮して雪ブロックを作製する機能を持つ。

愛知万博に、平成 17 年 6 月に出席する予定である。

9 情報受発信・NICOクラブ運営

(1) にいがた産業創造機構情報受発信事業

NICOの周知と、企業や関係機関からの積極的な活用を促すため、次の広報活動を展開した。

新聞・雑誌等での情報発信

- ・新潟日報 半5段広告5回、5段広告2回、7段広告1回、企画広告1回
 - ・日本経済新聞 突き出し広告（毎週水曜日）および半2段・半5段広告
- 機関誌・パンフレット等自主媒体による情報発信

NICOpress 10号から20号まで発刊した。（全11回、その他号外等を作成）
見本市等へのブース出展

だいしビジネスフォーラム、県連ビジネス交流会、柏崎工業メッセ、新潟ビジネスメッセ、ものづくり交流ネットワークフェア、産学官ジョイント交流会、インターナショナルディスプレイワークショップ、県央グローバルフェア、スローフード・スローライフ展に出展した。

情報受発信活動の展開

県内マスコミへのパブリシティ活動、日本橋を活用した首都圏マスコミとのネットワーク構築活動を行った。

(2) NICOクラブ運営事業

NICOの目的・活動に賛同する者で構成する会員制クラブを運営した。

機関誌の送付

毎月25日に機関誌NICOpressを発行した。

メールマガジンの配信

毎週水曜日にメールマガジンを定期配信し、必要に応じて臨時便を配信した。

NICOクラブ会員限定セミナーの開催

5回開催

会員相互による分科会活動支援

夢コラボ新潟、エコBC研究会の発足

10 その他

(1) 水害・震災対応

7.13水害及び中越大震災により被災した中小企業者の支援として、次の活動を行った。

7.13水害

- ・被災地の相談窓口で延べ29日対応した。
- ・7.13水害被災企業に対する専門家派遣を1件実施した。

- ・ 7 . 1 3 水害により被災した三条地区の製造業 8 社に対し、中小企業基盤整備機構の高度化資金活用による代替設備早期導入を実現するための工業診断を実施した。

中越大震災

- ・ 被災地の相談窓口で延べ 5 8 日対応した。
- ・ 中越大震災被災企業及び被災商店街に対する専門家派遣を 2 件実施した。

(2) 新潟エンジェルネットワーク

1 6 年 4 月に、新潟経済同友会からの提言「起業挑戦者倍増計画」を受け、N I C O を事務局として『新潟エンジェルネットワーク』を 1 7 年 1 月に立ち上げた。

また、当ネットワークにおいて、投資家と起業家・中小企業とのマッチングを行う「事業発表会」を 3 月に開催し、起業家・中小企業 5 者が事業計画のプレゼンテーションを行った。